

講義コード	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期																
科目名	マクロ経済学基礎					第2期																
履修前提条件					備考																	
授業の目的	この講義では経済学の面白さを知ってもらうことと、社会科学としての厳密性を理解してもらうこと目指している。経済学の考え方をわずかでも身につければ、世の中の見方を大きく変えることができるようになる。これこそが経済学を学ぶことの喜びである。一方、経済学はミクロ経済学、マクロ経済学という2つの側面から経済問題をとらえている。ミクロ経済学では、人間や企業の合理的な判断の結果どのような行動をとるようになるのかを分析している。マクロ経済学では、国全体としての家計や企業の行動を把握することによって、ミクロ経済学では見えていなかった経済システムの整合性を明らかにしている。これらを学ぶことによって、学問としての経済学の意味を分かってもらいたい。																					
到達目標	この科目は、経済学の基礎知識を習得することができる。2年次以降の経済学を理解するためには、経済理論における専門用語の正確な理解は必須である。これらが分らないと言語の異なる人と会話しているようなものである。基礎的な専門用語の理解および経済学の基礎的な分析概念の理解がこの授業の目標である。																					
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業外学修時間は、最低でも60時間以上必要である。経済理論であるから、授業だけで理解するのは困難である。特に数式的な理解を必要とする箇所が多いので、苦手な人はさらに多くの学修時間を必要とする。授業外学修のために、練習問題を用意する予定である。																					
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>【第1回】 講義の概要</td> <td>【第9回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 2</td> </tr> <tr> <td>【第2回】 第8章 国民所得の測定 1</td> <td>【第10回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 付論 1</td> </tr> <tr> <td>【第3回】 第8章 国民所得の測定 2</td> <td>【第11回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 付論 2</td> </tr> <tr> <td>【第4回】 第9章 生計費の測定 1</td> <td>【第12回】 第12章 総需要と総供給 1</td> </tr> <tr> <td>【第5回】 第9章 生計費の測定 2</td> <td>【第13回】 第12章 総需要と総供給 2</td> </tr> <tr> <td>【第6回】 第10章 生産と成長 1</td> <td>【第14回】 第12章 総需要と総供給 3</td> </tr> <tr> <td>【第7回】 第10章 生産と成長 2</td> <td>【第15回】 まとめ</td> </tr> <tr> <td>【第8回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 1</td> <td></td> </tr> </table>						【第1回】 講義の概要	【第9回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 2	【第2回】 第8章 国民所得の測定 1	【第10回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 付論 1	【第3回】 第8章 国民所得の測定 2	【第11回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 付論 2	【第4回】 第9章 生計費の測定 1	【第12回】 第12章 総需要と総供給 1	【第5回】 第9章 生計費の測定 2	【第13回】 第12章 総需要と総供給 2	【第6回】 第10章 生産と成長 1	【第14回】 第12章 総需要と総供給 3	【第7回】 第10章 生産と成長 2	【第15回】 まとめ	【第8回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 1	
【第1回】 講義の概要	【第9回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 2																					
【第2回】 第8章 国民所得の測定 1	【第10回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 付論 1																					
【第3回】 第8章 国民所得の測定 2	【第11回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 付論 2																					
【第4回】 第9章 生計費の測定 1	【第12回】 第12章 総需要と総供給 1																					
【第5回】 第9章 生計費の測定 2	【第13回】 第12章 総需要と総供給 2																					
【第6回】 第10章 生産と成長 1	【第14回】 第12章 総需要と総供給 3																					
【第7回】 第10章 生産と成長 2	【第15回】 まとめ																					
【第8回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 1																						
成績評価の方法	第2期末の試験の成績により評価する。																					
フィードバックの内容																						
教科書	『マンキュー入門経済学（第2版）』N. グレゴリー・マンキュー（東洋経済新報社）2014年																					
指定図書	『マンキューマクロ経済学（第3版）1 入門篇』N・グレゴリー・マンキュー（東洋経済新報社）2011年、『スティグリッツ入門経済学第4版』ジョセフ・E・スティグリッツ カール・E・ウォルシュ（東洋経済新報社）2012年																					
参考書	『スティグリッツマクロ経済学第4版』ジョセフ・E・スティグリッツ カール・E・ウォルシュ（東洋経済新報社）2014年、『経済学・入門第3版』塩澤修平（有斐閣）2013年、『マクロ経済学・入門第4版』福田慎一・照山博司（有斐閣）2011年																					
教員からのお知らせ	授業用の教材・資料および連絡事項を、学内コンピュータネットワークの共有ストレージを利用して掲示する。授業の前には、共有ストレージ（共有フォルダ）を見ること。																					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。																					
その他																						